

第1学年 社会科指導計画表

使用教科書	使用補助教材	教科担当者	時数
中学生の地理(帝国書院) 中学生の歴史(帝国書院) 中学校社会科地図帳 (帝国書院)	新訂資料カラー歴史(浜島書店) 作業する資料集アクティブ地理総合 (浜島書店) 社会の自主学習地理Ⅰ(新学社) 社会の自主学習歴史Ⅰ(新学社)	北上開人 2・3・4・5・6・7 今井徳彦 1・8組	週3時間 年105時間

1 教科目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を養う。

- 地理的分野では、日本や世界に対する関心を高め、その地域の特色や課題を様々な資料を適切に考察しながら、共通性や特殊性を多面的・多角的に認識するとともに、それを表現する能力や態度を育てる。
- 歴史的分野では、日本や世界の歴史的事象に対する関心を高め、その時代の特色や時代の変容について様々な資料を適切に活用しながら理解するとともに、それを多面的・多角的に考察し表現する能力や態度を育てる。
- 公民的分野では、現代の社会的な事象に対する関心を高め、民主主義の意義、国民生活や経済活動、国際関係や世界平和について様々な資料を適切に収集し、多面的・多角的に考察しながら適切に表現する能力や態度と公民としての必要な教養を培う。

2 評価の観点と評価方法

観 点	観 点 ご と の め あ て
	評 価 の 方 法
主体的に学習に取り組む態度	社会に関心を持ち、課題に対し、意欲的に追求しようとしている。
	授業への参加姿勢、学習課題や自己評価カードへの取り組み方、提出物など
思考・判断・表現	社会的な事象の意義や特色、課題について、多面的・多角的に考察、構想し、表現できる。
	定期考査、授業中の発表の様子、話し合い活動の様子、単元のまとめの内容
知識・技能	社会的な事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身に付けている。
	様々な資料から有用な情報を適切に選択し、読み取り、図表などにまとめている。
	定期考査、学習課題(朝学習、ワーク、予習プリントなど)への取り組み方

3 学習計画 【1学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
4	オリエンテーション	1	・授業での準備物、約束を確認する。	
5	地理 世界と日本の地域構成 第1章 世界の姿 第2章 日本の姿	4 4	・世界や日本の姿を大観する。 ・面積等に注目して世界の姿を大観する。 ・緯度や経度を使って位置を表現する。 ・地球儀と世界地図の構造を理解する。	仙台市標準 学力検査 4月13日(木)
	地理 世界のさまざまな地域 第1章 人々の生活と環境	8	・地域のような生活の様子や人々の生活の様子を読み取る。 ・さまざまな地域の気候の特色等を読み取る。 ・世界各地の衣食住の特色を知る。 ・世界の主な宗教の分布や特色を理解する。	
6	歴史 歴史のとらえ方と調べ方	1	・歴史を学ぶ意義を知る。	
	歴史 歴史の大きな流れと時代の 移り変わり 第1章 古代国家の成立と東アジア 1 人類の登場から文明の発生へ 2 東アジアの中の倭(日本)	5 3	・文明と技術の発達・文字使用・国家の起こり・宗教の始まりの関わりに気付く。 ・縄文時代から古墳時代における東アジアとの関わりが、社会の大きな変化につながったことを理解する。	1学期中間考査 6月27日(火)
7	3 中国にならった国家づくり 4 展開する天皇・貴族の政治	4 2	・律令国家が確立し、国家のしくみが整えられたことを理解する。 ・摂関政治など、天皇や貴族の政治の展開について理解する。	

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
8	地理 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域		<ul style="list-style-type: none"> ・アジア州の特色を急速な経済成長の視点から追究する。 ・ヨーロッパ州の特色を地域間の結びつきの視点から追究する。 ・アフリカ州の特色を特定の産物に頼る経済の視点から追究する。 	実力考查 8月25日(金)
9	1 アジア州	7		1 学期期末考查 9月12日(火)
	2 ヨーロッパ州 3 アフリカ州	6 4		

【2学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
10	歴史 歴史の大きな流れと時代の 移り変わり 第2章 武家政権の成長と東アジア		<ul style="list-style-type: none"> ・天皇・貴族の政治と武家政権を比べて、古代から中世への転換について考察する。 ・東アジア世界との密接な関わりや、それが国内に及ぼした影響などをとらえる。 ・諸産業の発達や自治的なしくみの成立など、社会の大きな変化を理解する。 	2 学期中間考查 11月22日(水)
11	1 武士の世の始まり	4		
	2 武家政権の内と外 3 人々の結び付きが強まる社会	4 4		
12	地理 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域		<ul style="list-style-type: none"> ・北アメリカ州の特色を巨大な産業の視点から追究する。 ・南アメリカ州の特色を農地や鉱山の開発の視点から追究する。 ・オセアニア州の特色を他地域との関係の視点の視点から追究する。 	実力考查 月 日 ()
	4 北アメリカ州	5		
	5 南アメリカ州 6 オセアニア州	4 3		
1	地理 日本のさまざまな地域 第1章 身近な地域の調査	4		
	歴史 歴史の大きな流れと時代の 移り変わり 第3章 武家政権の展開と 世界のうごき		<ul style="list-style-type: none"> ・新航路の開拓や宗教改革などのヨーロッパ世界の変化が日本に与えた影響について理解する。 ・織田信長や豊臣秀吉の行ったことを理解し、中世までとは異なる社会が生まれたことをとらえる。 	学年末考查 2月8日(木) 9日(金)
	1 大航海によって結びつく世界	3		
	2 戦乱から全国統一へ	3		
	3 武士による全国支配の完成 4 天下太平の世の中	4 4		

4 授業への取り組み方、準備物

- ・毎時間のねらいや課題を確認してから授業に臨みましょう。
- ・忘れ物をしないように気を付け、提出物の期限を守るよう心掛けましょう。
- ・黒板に書かれたものをノートに写すことだけに集中しないようにしましょう。
- ・ただ知識を暗記するだけではなく、その知識を活用して、社会の出来事について考えたり表現したりする力が大切です。
- ・友達の発表を聞いて、自分の考えと比べ、理解を深められるようにしましょう。

○準備物 教科書・ノート・地図帳・資料集の4点セット

- ・その他、補助教材等は各担当から授業ガイダンスで連絡をします。
- ・ノートは地理・歴史・公民の分野ごとに別なノートを準備します。

5 家庭での学習方法

- (1) 予習の仕方：教科書をしっかり読み、重要語句について調べましょう。単に暗記するのではなく、「なぜ？」という疑問をもとに調べるとよいでしょう。
- (2) 復習の仕方：授業で進んだ範囲のワーク（「完全学習」）に取り組みましょう。テスト前に一気にやるのではなく、授業があったその日のうちに復習をしましょう。テスト前にもう一度やれば万全です。
- (3) 新聞を読んだり、ニュースを見たりしましょう。ニュースで出てきた地名を地図帳で調べるのも有効です。現在社会で起きている出来事に関して自分の意見や考えを持つことも大切です。

令和5年度 第2学年 社会科指導計画表

使用教科書	使用補助教材	教科担当者	単位数
中学生の地理 (帝国書院) 中学生の歴史 (帝国書院) 中学校社会科地図 (帝国書院)	作業する資料集アクティブ地理総合 (浜島書店) 新訂 資料カラー歴史 (浜島書店) 社会の自主学习地理2 (新学社) 社会の自主学习歴史2・3 (新学社)	武田悠飛 1・2・3・5・6・8組 今井徳彦 4・7組	週3時間 年10.5時間

1 教科目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を養う。

- 地理的分野では、日本や世界に対する関心を高め、その地域の特色や課題を様々な資料を適切に考察しながら、共通性や特殊性を多面的・多角的に認識するとともに、それを表現する能力や態度を育てる。
- 歴史的分野では、日本や世界の歴史的事象に対する関心を高め、その時代の特色や時代の変容について様々な資料を適切に活用しながら理解するとともに、それを多面的・多角的に考察し表現する能力や態度を育てる。
- 公民的分野では、現代の社会的事象に対する関心を高め、民主主義の意義、国民生活や経済活動、国際関係や世界平和について様々な資料を適切に収集し、多面的・多角的に考察しながら適切に表現する能力や態度と公民としての必要な教養を培う。

2 評価の観点と評価方法

観 点	観 点 ご と の め あ て
	評 価 の 方 法
主体的に学習に取り組む態度	社会に関心を持ち、課題に対し、意欲的に追求しようとしている。
	授業への参加姿勢、学習課題や自己評価カードへの取り組み方、提出物など
思考・判断・表現	社会的事象の意義や特色、課題について、多面的・多角的に考察、構想し、表現できる。
	定期考査、授業中の発表の様子、話し合い活動の様子、単元のまとめの内容
知識・技能	社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身に付けている。
	様々な資料から有用な情報を適切に選択し、読み取り、図表などにまとめている。
	定期考査、学習課題（朝学習、ワーク、予習プリントなど）への取り組み方

3 学習計画

【1学期】

月	題材	時数	学習のねらい	備考
4	○ オリエンテーション	1	・ 授業での準備物 約束を確認する。	仙台市標準学力検査 4月13日 (木)
	○ 世界と比べた日本の地域的特色 ・ 日本の地域的特色	1 2	・ 日本の自然環境に関する特色を理解する。	
5	○ 武士による支配の完成 ○ 天下泰平の世の中	4	・ 日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解する。	1学期中間考査 6月27日 (火)
6	○ 社会の変化と幕府の対策	3	・ 日本と世界の結びつきの特色を資料から読み取る。	
7	○ 九州地方	5	・ 江戸幕府の政治の特色を明らかにする。 ・ 江戸の農業の変化や産業の特色について地図や資料を通してとらえる。	
8	○ 中国・四国地方	5	・ 九州地方の特色を自然環境の視点から追究	実力考査

9			する。 ・ 中国・四国地方の特色を他地域との結びつきの視点から追究する。	8月25日(金) 1学期期末考査 9月12日(火) 9月13日(水)
10	○ 欧米諸国における「近代化」	5	・ 市民革命・産業革命の影響を理解する。	

【2学期】

月	題材	時数	学習のねらい	備考
10	○ 開国と幕府の終わり	4	・ 明治維新による国内の変化を政治と文化の面から考察する。	2学期中間考査
11	○ 明治政府による「近代化」の始まり	3	・ 立憲国家の成立の意義を国内・国外の側面から理解する。	11月22日(水)
12	○ 近畿地方	5	・ 近畿地方の特色を環境問題・環境保全の視点から追究する。	実力考査 月 日 ()
	○ 中部地方	5	・ 中部地方の特色を産業の視点から追究する。	
1	○ 関東地方	6	・ 関東地方の特色を人口や都市の視点から追究する。	
	○ 東北地方	5	・ 東北地方の特色を生活・文化の視点から追究する。	
	○ 北海道地方	5	・ 北海道地方の特色を歴史の視点から追究する。	
2	○ 帝国主義と日本	4	・ 近代化と国際的地位の変化を考察する。	学年末考査
3	○ アジアの強国の光と影	3	・ 近代化の特色をとらえる	2月8日(木) 2月9日(金)
	○ 第一次世界大戦と民族独立の動き	4		
	○ 高まるデモクラシーの意識	3		

4 授業への取り組み方、準備物

- ・ 毎時間のねらいや課題を確認してから授業に臨みましょう。
- ・ 忘れ物をしないように気を付け、提出物の期限を守るよう心掛けましょう。
- ・ 黒板に書かれたものをノートに写すことだけに集中しないようにしましょう。
- ・ ただ知識を暗記するだけではなく、その知識を活用して、社会の出来事について考えたり表現したりする力が大切です。
- ・ 友達の発表を聞いて、自分の考えと比べ、理解を深められるようにしましょう。

○ 準備物 教科書, ノート

- ・ その他、補助教材等は各担当から授業ガイダンスで連絡をします。
- ・ ノートは地理・歴史・公民の分野ごとに別なノートを準備します。

5 家庭での学習方法

- (1) 予習の仕方：教科書をしっかり読み、重要語句について調べましょう。単に暗記するのではなく、「なぜ？」という疑問をもとに調べるとよいでしょう。
- (2) 復習の仕方：授業で進んだ範囲の「社会の学習」に取り組みましょう。テスト前に一気にやるのではなく、授業があったその日のうちに復習をしましょう。テスト前にもう一度やれば万全です。
- (3) 新聞を読んだり、ニュースを見たりしましょう。ニュースで出てきた地名を地図帳で調べるのも有効です。現在社会で起きている出来事に関して自分の意見や考えを持つことも大切です。

使用教科書	使用補助教材	教科担当者	単位数
中学生の歴史（帝国書院） 新しい社会公民（東京書籍）	みつけよう歴史資料（とうほう） 社会の自主学习 歴史2・3（新学社） ビジュアル公民2023（とうほう） 社会の自主学习 公民（新学社）	1.3.5.7組 横山 司 2.4.6.8組 大下順也	週4時間 年140時間

1 教科目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を養う。

- 地理的分野では、日本や世界に対する関心を高め、その地域の特色や課題を様々な資料を適切に考察しながら共通性や特殊性を多面的・多角的に認識するとともに、それを表現する能力や態度を育てる。
- 歴史的分野では、日本や世界の歴史的事象に対する関心を高め、その時代の特色や時代の変容について様々な資料を適切に活用しながら理解するとともに、それを多面的・多角的に考察し表現する能力や態度を育てる。
- 公民的分野では、現代の社会的事象に対する関心を高め、民主主義の意義、国民生活や経済活動、国際関係や世界平和について様々な資料を適切に収集し、多面的・多角的に考察しながら適切に表現する能力や態度と公民としての必要な教養を培う。

2 評価の観点と評価方法

観 点	観 点 ご と の め あ て
	評 価 の 方 法
主体的に学習に取り組む態度	社会に関心を持ち、課題に対し、意欲的に追求しようとしている。
	授業への参加姿勢、学習課題や自己評価カードへの取り組み方、提出物など
思考・判断・表現	社会的事象の意義や特色、課題について、多面的・多角的に考察、構想し、表現できる。
	定期考査、授業中の発表の様子、話し合い活動の様子、単元のまとめの内容
知識・技能	社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身に付けている。
	様々な資料から有用な情報を適切に選択し、読み取り、図表などにまとめている。
	定期考査、学習課題（朝学習、ワーク、予習プリントなど）への取り組み方

3 学習計画

【1学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
4	○オリエンテーション	1		仙台市標準学力検査 4月13日(木)
	○軍国主義と日本の行方	4	・世界恐慌の原因について理解し、各国の対応などの違いを考える。	
	○アジアと太平洋に広がる戦線	4	・第二次世界大戦の原因や概要について理解し、ヨーロッパとアジアの動きを比較して考える。	
5	○敗戦から立ち直る日本	3	・第二次世界大戦後の日本の民主化と国際社会への復帰について、世界の動きと関連させながら理解する。	1学期中間考査 6月27日(火)
	○世界の多極化と日本の成長	4	・高度経済成長以降から現在までの日本と世界の動きを、国民の生活と関連させて理解する。	
6	○これからの日本と世界	4	・冷戦終結から現在までの日本の歩みを理解する。	
7	○現代社会の特色と私たち	4	・現代社会の諸問題について理解する。	
	○私たちの生活と文化	3	・現代社会における文化の意義を理解する。	

10	8	○現代社会の見方や考え方 ○人権と日本国憲法	4	・「対立と合意」「効率と公正」について理解する。	実力考查① 8月25日(金)
	9	○人権と共生社会	5	・日本国憲法の制定の意義と基本原理について、大日本帝国憲法と比較しながら理解する。	
	10	○これからの人権保障	6	・日本国憲法に定められている基本的人権の種類や内容を、具体的な事例を通して理解する。	1学期末考查 9月12日(火) 13日(水)
	10	○現代の民主政治	3	・社会の変化にともなって人権の考え方が変化することを、具体的な事例を通して理解する。	実力考查② 月 日 ()
	10	○国の政治のしくみ	5	・国民の積極的な政治参加が議会制民主主義を支えていることに気付き、政治に関心を持つ。	
			9	・国会・内閣・裁判所の仕組みと働きについて理解する。	

【2学期】

月	題 材	時数	学 習 の ね ら い	備 考
10	○地方自治と私たち	4	・地方自治の仕組みについて理解するとともに、地方財政の仕組みや課題について理解する。	実力考查③ 月 日 ()
11	○消費生活と市場経済 ○生産と労働	4 5	・具体的な事例から、経済活動の意義や消費者の権利について理解する。 ・企業の働きや株式会社の仕組み、現代企業の特徴と課題について理解する	
12	○市場経済の仕組みと金融	6	・市場経済の基本的な考え方や価格の決め方・役割、金融の働きを理解する。	2学期中間考查 11月2日(木)
1	○財政と国民の福祉 ○これからの経済と社会	4 2	・財政や租税の役割について、主権者として関心を持ち、課題を意欲的に追究している。	
2	○国際社会の仕組み ○さまざまな国際問題 ○これからの地球社会と日本 ○より良い社会を目指して	5 5 2 6	・国際社会が抱える諸問題について関心を高め、その解決のための努力について理解する。 ・よりよい社会を築くために解決する課題にはどのようなものがあるか、考える。	学年末考查 2月8日(木) 9日(金)

4 授業への取り組み方、準備物

- ・毎時間のねらいや課題を確認してから授業に臨もう。
- ・忘れ物をしないように気を付け、提出物の期限を守ろう。
- ・黒板に書かれたものをノートに写すことだけに集中しないようにしよう。
- ・ただ知識を暗記するだけでなく、その知識を活用して、社会の出来事について考えたり表現したりする力が大切。
- ・友達の発表を聞いて、自分の考えと比べ、理解を深められるようにしよう。

5 家庭での学習方法

- (1) 予習の仕方：予習課題に取り組んだり、教科書の重要語句について調べたりしよう。その場合「なぜ？」という疑問をもとに調べてみよう。
- (2) 復習の仕方：授業で進んだ範囲のワークに取り組もう。テスト前に一気にやるのではなく授業の終わったその日のうちに復習をしよう。また授業を受けた範囲のワークにすぐに取り組もう。ワークは、テスト前に別のノートを準備し何度も行うことが大切。
- (3) 新聞を読んだり、ニュースを見たりしよう。ニュースで出てきた地名を地図帳で調べるのも有効。現在の社会の出来事に関して、自分の意見や考えを持つことは非常に大切！